金光学園中学校入学試験（適性検査型）
令和元年12月8日

適性検査Ⅱ―1

受験番号

課題1　次の文章を読んで、あとの(1)から(5)に答えましょう。

この部分は、著作権の関係で
掲載できません。

(1)　═「まちまち」とは、どのような様子を表しますか。十字以内で書きましょう。（、や。や「　」も一字に数えます。）

様子。

(2)　──線①「幼児の感覚」とありますが、それはどのような感覚ですか。解答らんに合うように、文中の語句を用いて二十五字以内で書きましょう。（、や。や「　」も一字に数えます。）

幼児は、水がいっぱいあるところと言われても

できないこと。

適性検査Ⅱ―２

受験番号

(3) ――線②「『マラソン』という言葉から広がるイメージの範囲は人それぞれによって大きく異なってくるのです」とありますが、それはなぜですか。「～から。」で終わるように、文中の語句を用いて四十五字以内で書きましょう。（、や。や「　」も一字に数えます。）

(4) ――線③「その言葉が持つイメージがプラスかマイナスか」とありますが、人によってイメージが違うと考えられる言葉は、本文の例のほかにどのようなものがありますか。一つ書きましょう。また、どのようにイメージが違うのかを三十字以上五十字以内で書きましょう。（、や。や「　」も一字に数えます。）

言葉

(5) ――線④「言葉は慎重に用い、『誰でもそうだ』とか『わかりきっている』とか『当然だ』などの言い切りはむやみに使わないよう心がけた方がよいでしょう」とありますが、筆者がこのように主張するのはなぜですか。「～から。」で終わるように、文中の語句を用いて八十字以内で書きましょう。（、や。や「　」も一字に数えます。）

課題２　小学校を卒業するにあたって、太郎（たろう）さんと花子（はなこ）さんは周りの人に伝えたい言葉を考えています。二人は話し合って、感謝の気持ちや応援（えん）のメッセージが伝わるような言葉にしようと決めました。あなたならだれにどのような言葉を伝えたいですか。その言葉を選んだ理由もふくめて二百字以内で書きましょう。（、や。や「　」も一字に数えます。段落分けはしなくてよろしい。一マス目から書き始めましょう。）

金光学園中学校入学試験（適性検査型）
令和元年 12 月 8 日

適性検査Ⅱ－３

受験番号	

課題３　太郎さんと花子さんが，地震と防災について会話をしています。その文を読んで，あとの（１）～（３）に答えましょう。

太郎：日本は地震の多い国だと言われるけれど，この百年で大きな被害が出た関東大震災と阪神・淡路大震災と東日本大震災について調べてみたよ。

花子：どの地震も大変な被害が出ているけれど，それぞれに特徴があるようだね。特に資料１のグラフには大きな違いがあるよ。なぜ，このような違いが出たのだろう？

太郎：それは，資料２の表を見るとわかると思うよ。
関東大震災で［ A ］のは，［ B ］といわれているし，阪神・淡路大震災で［ C ］のは，［ D ］と考えられるね。

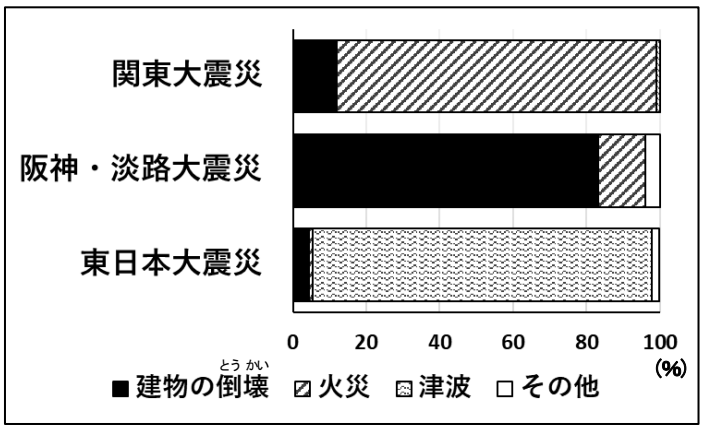
花子：東日本大震災では，地震の後に発生した津波で大きな被害が出たというのは，ニュースで聞いたことがあるよ。
①特に岩手県や宮城県の三陸海岸の沿岸部では，津波の高さが高くなったようだね。

太郎：この地域で津波の高さが高くなったのは，資料３からわかるように，海岸の地形が関係しているそうだよ。

花子：ところで，この②東日本大震災をきっかけに，人々の防災意識が変化したようだね。

太郎：私たちが住んでいる地域でも，いつ地震や津波が起こるかわからないから，防災意識を高めて，③自分たちができることを考えておく必要があるね。

資料１　大震災で亡くなった方の原因別の割合



資料２　日本で起こった大地震の比較

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
地震が発生した年月日と時間	1923 年 9 月 1 日 午前 11 時 58 分	1995 年 1 月 17 日 午前 5 時 46 分	2011 年 3 月 11 日 午後 2 時 46 分
おもな被災地	東京都・神奈川県	兵庫県	岩手県・宮城県・福島県
地震の大きさ	マグニチュード 7.9	マグニチュード 7.3	マグニチュード 9.0
被災した建物の数	372,659棟	256,312 棟	161,665戸

資料１・２は，国土技術研究センターの資料より作成

資料３　三陸海岸の地形

宇宙航空研究開発機構の資料より作成

（１）文中の［ A ］・［ C ］にあてはまる，資料１の関東大震災と阪神・淡路大震災のグラフの特徴をそれぞれ答えましょう。また，資料２を参考にして［ B ］・［ D ］にあてはまる，そのような特徴を示す理由を答えましょう。

	グラフの特徴	理由
関東大震災	A	B
阪神・淡路大震災	C	D

（２）下線部①のように，三陸海岸の沿岸部で津波の高さが高くなった理由を，資料３の写真を参考にして答えましょう。

（３）下線部②・③について，資料４の表からわかる「防災対策についての意識の変化」を解答らんの書き出しに続けて，簡単に答えましょう。また，あなたの考える「自助」による防災対策（自分でできる防災対策）を３つ答えましょう。

資料４　防災対策についての意識の変化

調査年	＊1公助に重点	＊2共助に重点	自助に重点	バランスよく	その他
2002	24.9%	14.0%	18.6%	37.4%	5.1%
2017	6.2%	24.5%	39.8%	28.8%	0.7%

平成 30 年度版防災白書より作成

＊１　公助…防災のために，国や県・市町村などが取り組むこと
＊２　共助…防災のために，地域や近所の人たちが助け合って取り組むこと

防災対策についての意識の変化
東日本大震災の前と後では，

あなたの考える「自助」による防災対策
1
2
3